

海の生命線

我が南洋の姿

688-107



688  
107

〇  
複写







海の生命線

我が南洋の姿

~~我が南洋の姿~~



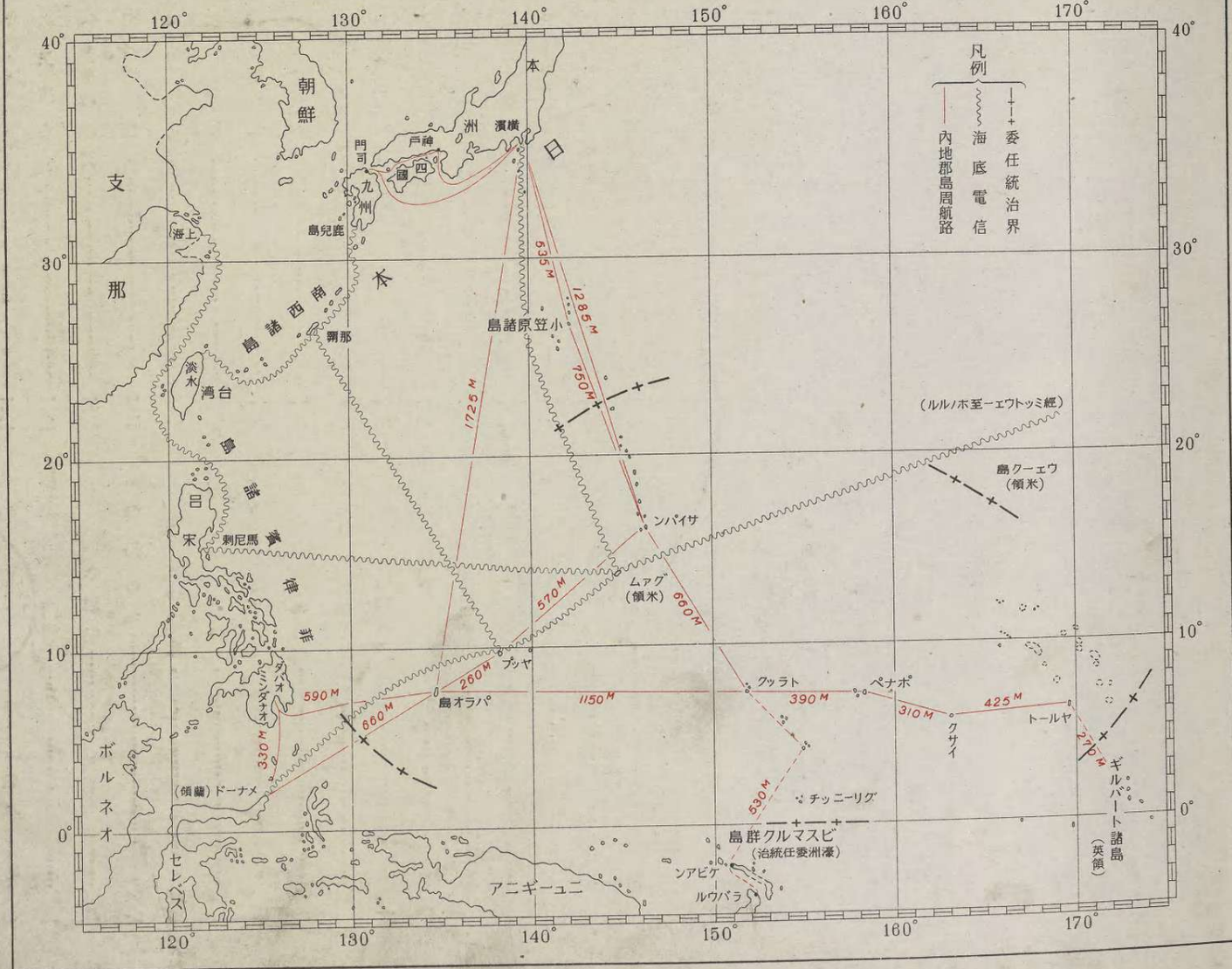


寫眞目次

南洋群島の位置……………	一	玳瑁……………	二五
サイパンの役所……………	二	群島の瀑布……………	二六
サイパン島のガラパン町……………	三	來航を喜ぶ離島の民……………	二七
南洋興發會社……………	三	パイナップル……………	二八
カトリック教會堂……………	四	檳榔樹……………	二八
カナカ族とチャモロ族……………	五	パイナップル……………	二九
サイパンの小學校……………	六	アンガウル島燐礦積込……………	三〇
バナバナ……………	七	トラツク島夏島の景……………	三一
マンゴ一の果實……………	八	トラツク島の殷賑……………	三二
ロタ島の船著……………	九	マングローブ樹……………	三三
ヤツプ島コロニヤの風景……………	一〇	トラツク島女のすなどり……………	三三
ヤツプ島公學校……………	一〇	パン餅作り……………	三四
海底電信所……………	一一	離島の民……………	三五
ヤツプ島民(カナカ族)……………	一二	椰子樹と實……………	三六
ヤツプ島の少女達(カナカ)……………	一二	ボナベ島コロニー町……………	三七
パラオ島コロールの遠望……………	一三	ボナベ島コロニー市街……………	三八
南洋廳……………	一四	ボナベ島バルキール植民地……………	三九
南洋廳長官邸……………	一五	スペイン時代の城壁……………	四一
コロール島の無線柱……………	一六	ナンマタールの遺蹟……………	四二
パラオ島コロール街……………	一六	クサイ島の風景……………	四三
パラオ島コロール風景……………	一七	ヤルトト島ジャボールの港……………	四四
パラオ島の埠頭……………	一八	ヤルトト島の町……………	四五
交通船……………	一九	リーフの状態……………	四六
島民の踊……………	二〇	酋長の娘……………	四七
タロー芋……………	二一	島民の編物……………	四八
繪物語……………	二二	キリスト教會……………	四九
パラオの珠貨……………	二二	群島の警備……………	五〇
島民集會所……………	二三		
バラオのカノウハウス……………	二四		



# 南洋群島ノ位置





サイバンの役所



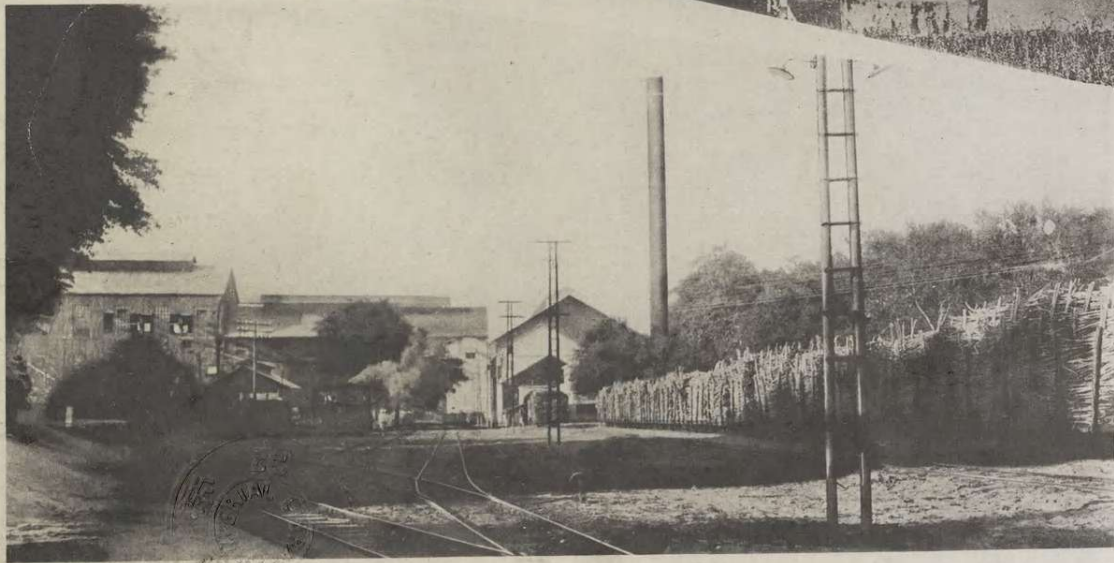
サイバンは群島の關門である、寫眞はサイバン支廳の建物で、ドイツ時代のものである。サイバンには、この外に地方法院、郵便局（無線も含む）病院などがある。





サイパン島のガラバン町

寫眞はサイパン支廳の在る丘から見たガラバン町の一部である。正面はるか海岸に四阿の様なのは埠頭の休憩所である。向つて右の方が北ガラバン左の方が南ガラバンで、北ガラバンはチャモロ族南ガラバンはカナカ族の町と、スペイン時代に確然と決めたのであるが、今はガラバンの町は一万何千の日本人が雜居してゐるからチャモロの二千三百とカナカの九百位が居ても町の風景恰も内地の新開地を見るが如く變つてゐる。



南洋興發會社

主として製糖業を營んでゐる。資本金七百万圓、年産額二千五百噸、價格一千万圓に垂としてゐる。同社の發展は、サイパン島の各種事業の隆盛を刺戟した事夥しい。が南洋廳の指導援助宜しきを得た事によるは言ふまでもないと思ふ。



カトリック教會堂



ローマン、カトリック教の渡來したのは遠く1600年代の中葉である  
彼等宣教師は凡ゆる困難と戦ひ、未開の島民に着物を着ることを教  
へ、建築を教へ耕作も教へた。サイバンのチャモロ族は、生れるか  
ら死ぬまで、冠婚葬祭悉くカトリック宣教師の厄介にならぬことは  
ないと言つて可なりである。それ丈チャモロはカンカンの信者であ  
る。カトリックの布教には領有以來、官は多大な補助をしてゐる。





### サイパン島のカナカ族

群島の住民は略々二種ある。一はチャモロ族で、一はカナカ族である。前者は稍々文化高く後者は低い。「カナカ」といふは廣く太平洋諸島にある黒褐色民族の總稱である。各島のカナカ各々の特色がある、サイパンのカナカは比較的体格がよい。生活はその素裸が表示する様に簡単なものである。但し役所では彼等の生活を向上改善するため苦心してゐる。



チャモロの少年



チャモロ族はカナカ族よりは開けてゐる。この種族は混血種である。主にスペイン、ドイツ、支那人などとの間の。然し生活の様子は其れ等のどれにも似ず獨特のものである。



サイパンの小學校



内地の小學校と同様の學校である。教師は内地の師範を卒業した者である。児童はサイパン支廳下で尋常、高等合せて、約三千五百名で、設備も整つてゐる、先生の俸給は勿論其他凡て官の費用で立ててゐる。大正八年頃サイパン全体で日本人小學校生徒の数が五十何名であつたと言ふに今では學校が十校に上つてゐる。我領有以來如何に邦人が發展してゐるかを卜するに足る。



ロタ島の船著



サイパン島の南約65哩の所にある。南洋興發會社は事業をこの島にも擴げ、目下多數の移民が渡航して開墾に従事してゐる。

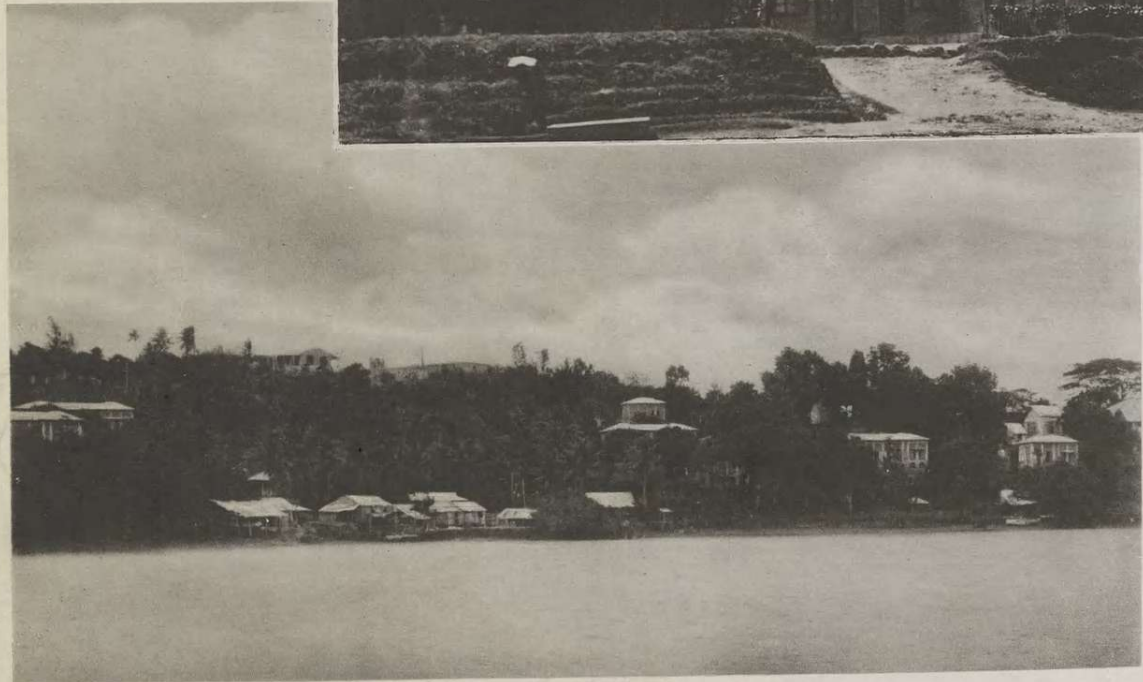




公學校（ヤップ島ヤップ公學校）

↑  
 群島の島民の児童も、内地の児童の様に殆んど洩れなく、初等教育を受ける、その學校が公學校である。  
 公學校は本科（尋常科の如し）三年、補習科（高等科の如し）二年である。内地の學科と殆んど同じものを教はる。そして、學用品、被服、食料までも官給される。

コロニヤはヤップ島の首都である見渡す所、近代建築を以て充たされてゐる。そこには官衙、學校、病院、無線電信、海底電信がある。海底電信は那覇上海線、蘭領メナー線、米領グラム、ハワイ、アメリカ線がある。コロニヤは、月の夕、スコール（驟雨）の朝、風景絶佳の所である。その纏りたる風景は大きな箱庭と言つた感じもする。



ヤップ島コロニヤの風景



海底電信所



ヤツブ郵便局内の一部であるが、群島海底電信を有するのはこの島だけである。元獨逸電信會社の有であつたのが、歐洲戰後日本のものとなつたのである。此所から那覇上海に通じ、グロム島、小笠原島を経て東京にも通ずる、又那覇、鹿兒島にも通ずる、尙グロム島を経て北米大陸とも通信が出来る。



ヤツブ島民の少女達 (カナカ)

今でも殆んど皆、昔の儘の草の腰袋をつけてゐる。極く最近までは学校の生徒もこの儘教室に入つて勉強してゐた。いま学校ではそれを禁じてゐる。



ヤツブ島民 (カナカ族)



群島中でヤツブの島民が最も保守的で舊習を墨守してゐる。ヤツブのコロニヤ以外では殆んど全部の島民は昔の儘のこんな風をしてゐる。家屋の建築は大分發達してゐる。家の軒下に見える圓形のは、石灰岩で作つた「石貨」である。石で作つた貨幣が今でも通用してゐるから面白い。何故石にそんな價があるかといふと、その石はヤツブ島には無くて、遠く二百數十哩距つたパラオ島から苦心して運んだからである。ヤツブ島は群島唯一の、男尊女卑の習慣を持続してゐる。



パラオ、コロールの遠望



コロール島には南洋廳を始め、法院、観測所、學校、郵便局その他商店など群島の中樞となるものがある。この寫眞の右方の島を距て、パラオ港があるのである。



南  
洋  
廳



群島行政の源である。南洋廳は大正十一年開設せられて、産業の開発、教育の普及、衛生の改善、資源の開拓等凡ゆる施設をなしてゐる。其の結果今や昔の面目一新され、隔世の感ある治績を擧げてゐる。南洋廳には長官、書記官、事務官、技師、屬、警部、技手等多數の官吏が居る。



南洋廳長官邸



パラオ島コロールの高臺に在る。

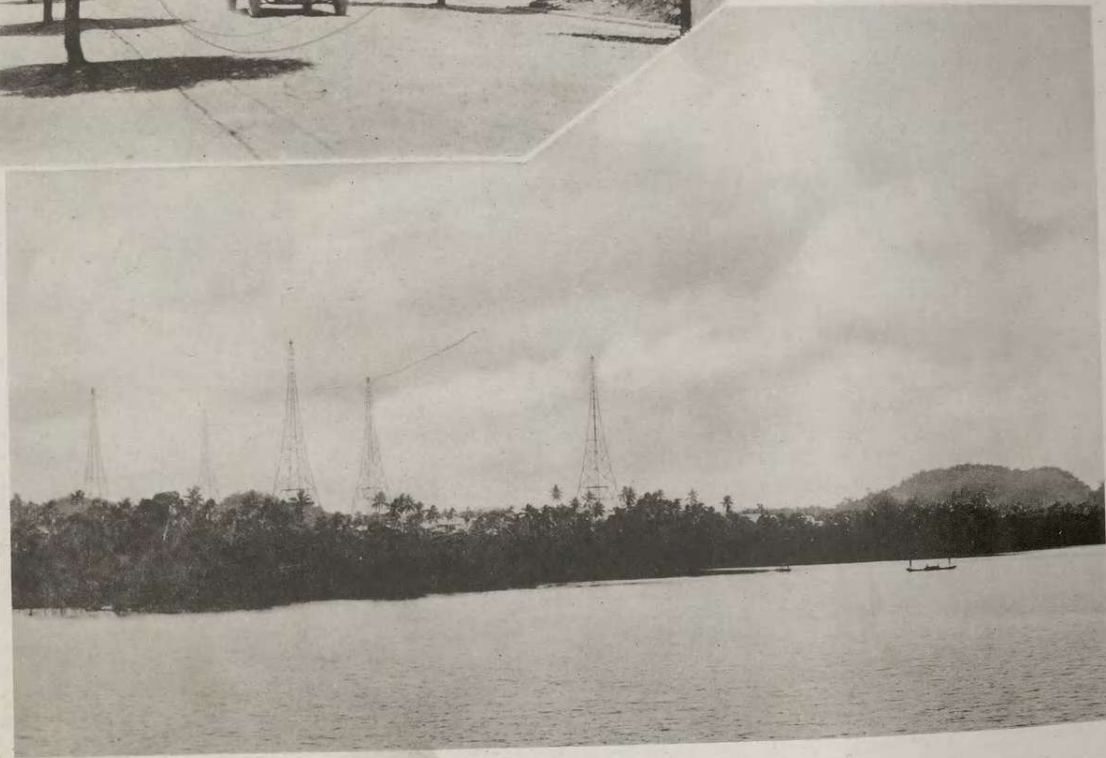


パラオ島コロール街



コロール島の無線柱

パラオ島コロール島の無線は  
毎日内地と通信してゐる。  
主要なる島七ヶ所に無線局が  
あるが、パラオ島のは最も遠  
距離と交信が出来る。



↑  
パラオ島コロール町の郵便局前の通りである。  
俗にパラオ銀座の稱がある。一流の商店、會社  
あり、撞球場、麻雀クラブ、カフェー等があり  
盛況である。



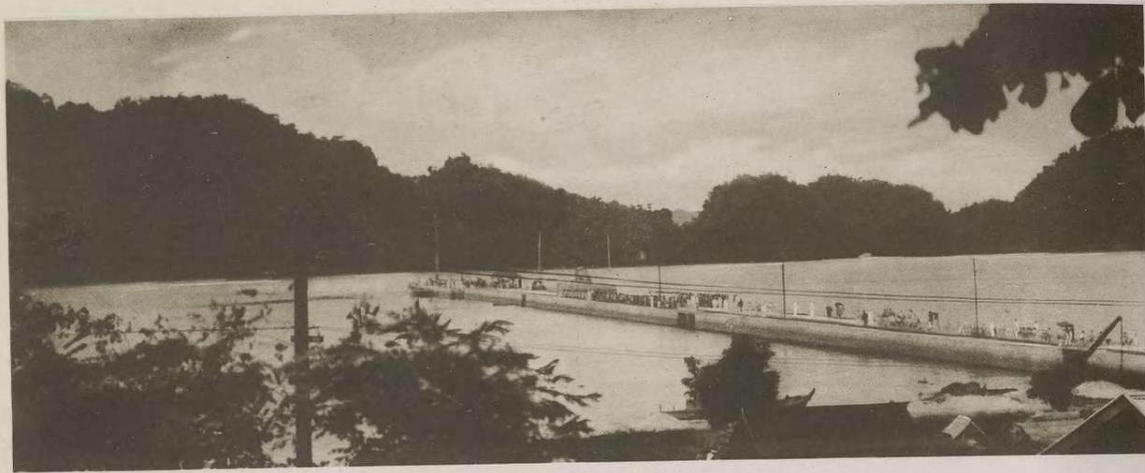
パラオ島  
コロール風景



パラオ島の埠頭に上陸して、町に行く時誰でもこの整然たる並木の路を通る、両側には蕭洒たる住宅が椰子の葉蔭に陰見して居る。



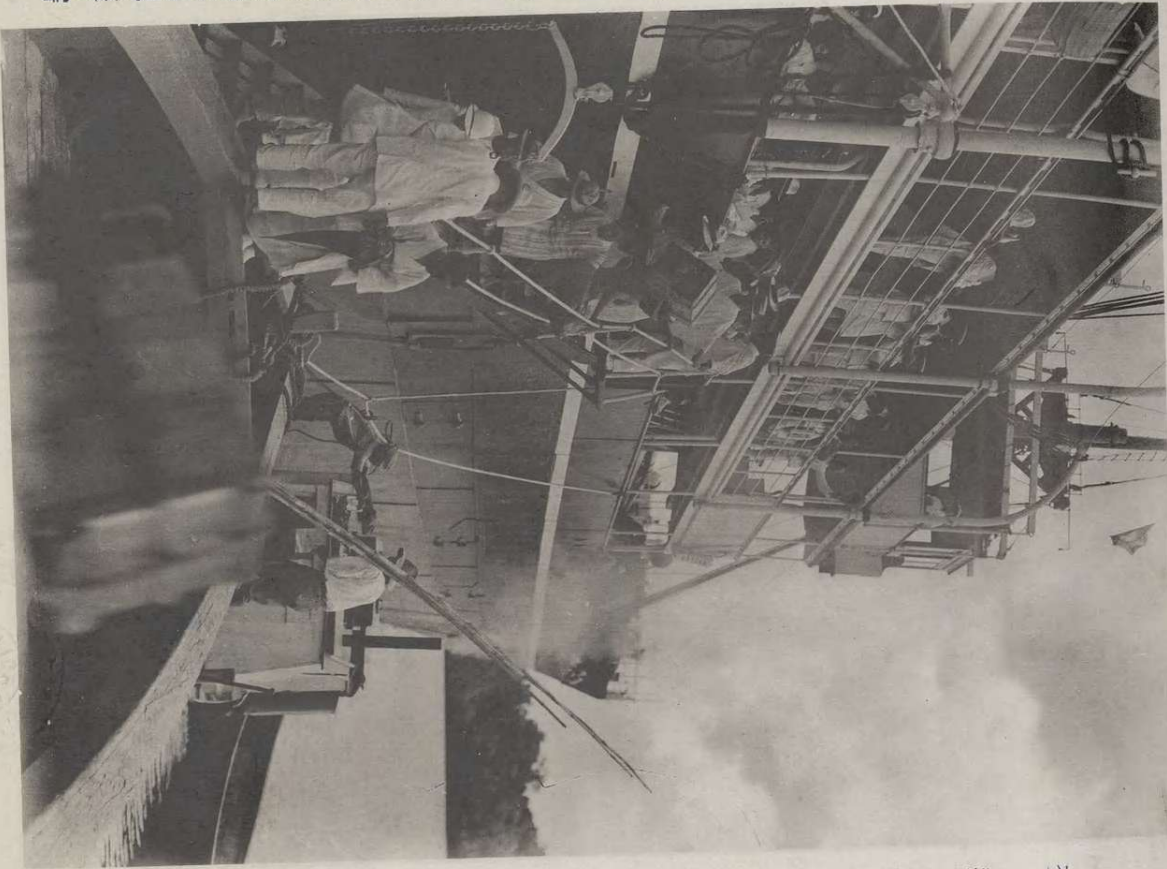
バラオ島の埠頭



交通船の出入りには、埠頭は混雑する。交通船は此の島山の向ふの港に碇泊してゐる。



交通船



三千噸乃至六千噸の内地群島間の交通船の入出港には出迎、見送り、荷物の運搬など大混雑を極める。群島では送迎は中々盛んである。幾千海里の旅であるから、これも尤である。



島民の踊



寫眞はパラオ島民の踊りである。以前吞氣な時代は各島とも一年の大半は踊と饗宴に暮してゐたが、今では踊つても居られない。





タロイ芋

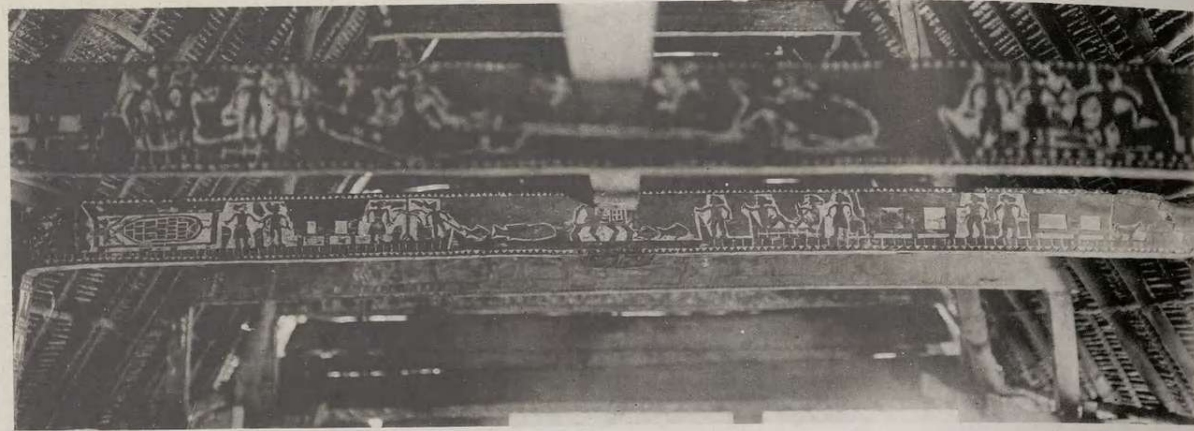
タロイ芋は土人の常食糧であつて、葉柄七八尺、葉長五六尺、一個の芋三四貫に達するものがある。土人は雨笠に代用し二人位基の中で雨を凌ぐに足る。



パラオのアバイ内に刻してある繪物語である。エロ、グロ、取らんしてはあが、儂なき彼等の生活の記録である所に面白味と價値がある。

寫眞に表はれたるもの、意味は左の通りである。

↑  
「パラオ島の北部のコンレイ村の酋長の娘にエラクピルといふ美少女があつた。村の若者達がいくら言寄つても少しも應ぜなかつた。若者達は業を煮やして「あの娘はアンガウル島のエラコイギスの妻にでもなる氣だろ」と宣傳した。娘は此の時そん男があるのを始めて知つて行き度くて堪らず遂に川蜘蛛の背に乗つてアンガウル島に渡つた。果してエラコイギスはあつたが、それはとても翠丸の大きな男であつたが、其の翠丸の中には澤山の金を藏してあつた。娘は彼の妻となり澤山な金を貰つて村に歸つて來た。娘は中央は川蜘蛛の背に乗つて村に歸る娘、左はアンガウル島とその男、右は自分の村。」

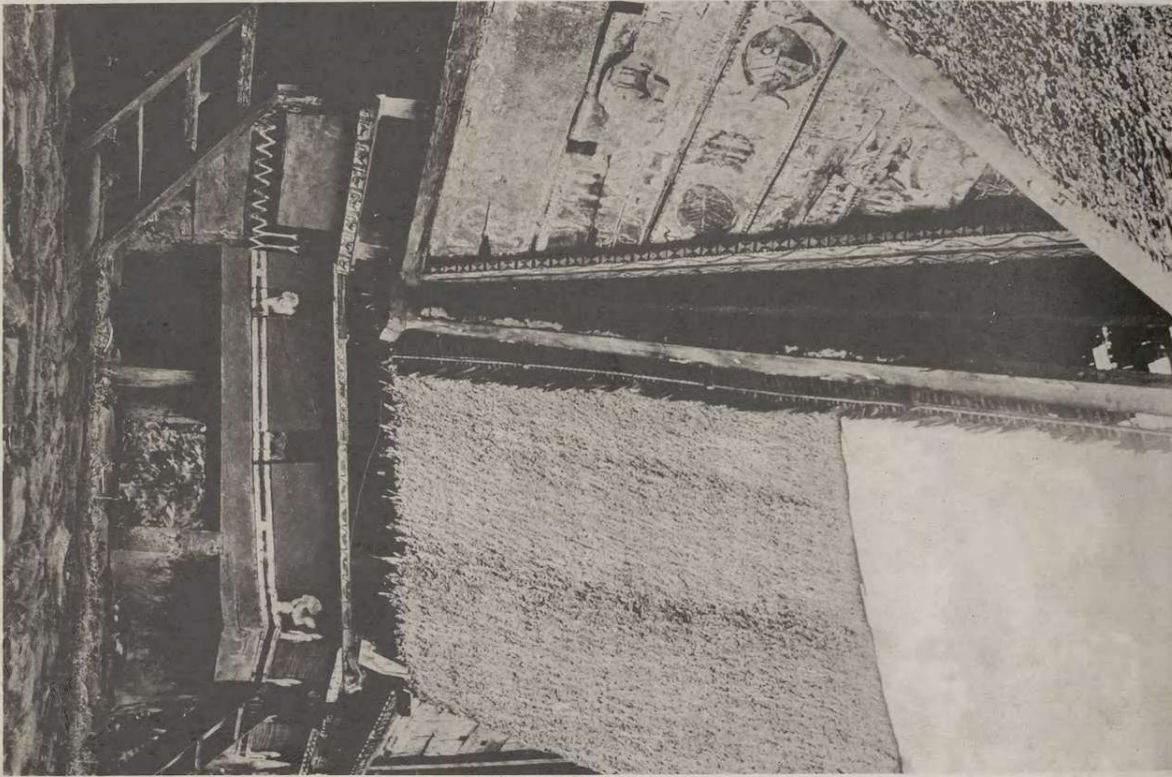


パラオの珠貨

↓  
パラオ島の土民は、珠玉を愛し貴ぶこと甚だしく、これを金錢又は寶物の如くに取扱ふ。この珠貨を「ウドウド」といふ。「ウドウド」は又門閥でなく、ては高級なものを所持し得ない特色がある。  
ウドウドの高級なものが邦貨數千圓にて擔保された實例がある。



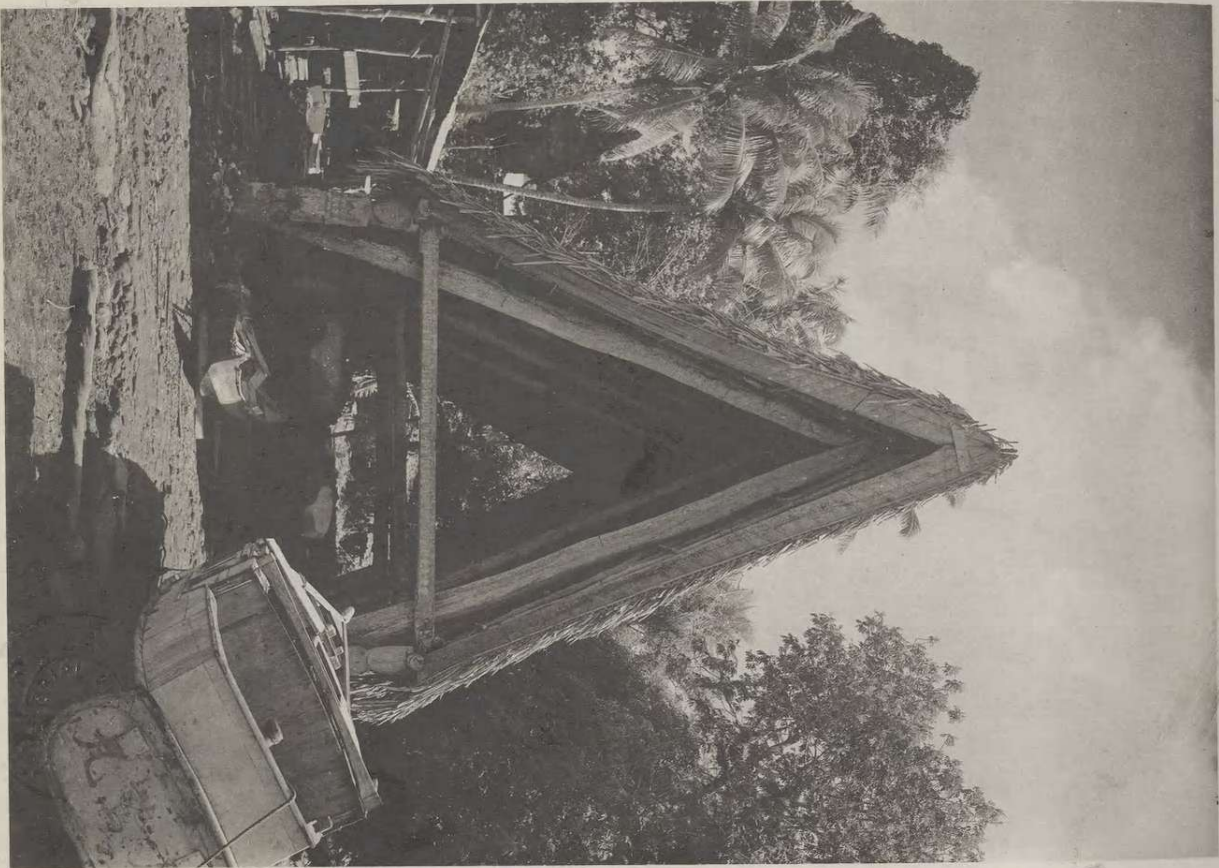
島民集會所



カナカ族は集團の生活をして来た。その生活上の必要から、古くから集會所を有してゐる。パラオ島の集會所は島語で、**アバイ**と稱する。(ツツグではツエバ、トラツク方面ではオムカメツハムスといふ) 各部落大抵二三はもつてゐる。パラオ島の**アバイ**は最も莊麗なもので屋の内外に鮮麗な色彩を施して模様や繪物語の様なものを刻してある

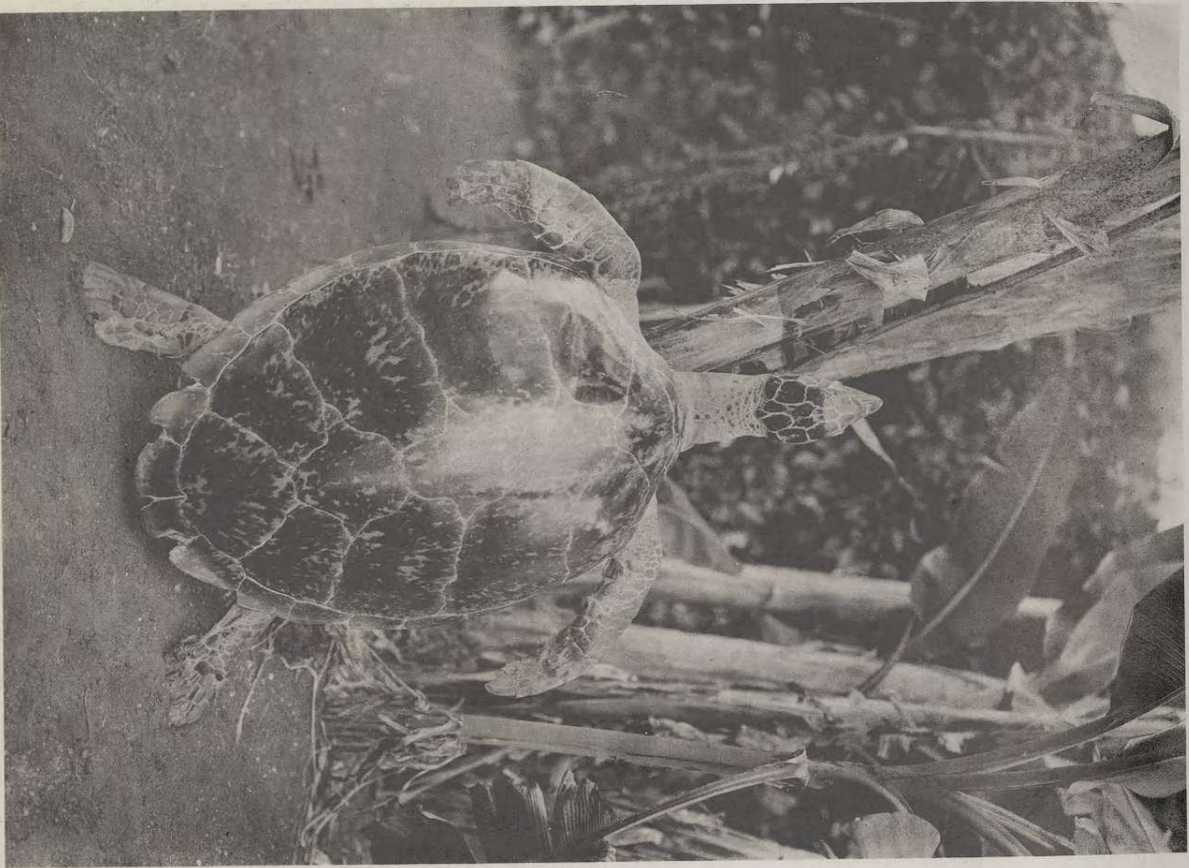


バラオのカノウハカス



粗大なるカノウハカスには往時は赤いカノウが十幾集も入れてあつたものだ。今はカノウが少なくなつてボルト等を入れてある。ハカスの梁と柱の彫刻に注意せられ度し。





玳瑁

蘇人の珍重する鱗甲の柳、筴、ビソ等が玳瑁の甲羅（造られることは周知の事である。南洋、特にブラオ、ボナベなどには玳瑁が多く生棲してゐる。



群島の瀑布



寫眞はパラオ島のガスパンの瀑布である。ボナペには未だ々々大きな瀑布も瀧もある。それ程パラオ島、ボナペは、山と水源を有してゐる島である。



來航を喜ぶ離島の民



南洋では主要な島から遠隔して邊鄙な島を離島と稱する。離島の民は文化の恩恵に浴すること薄き爲め原始的な生活をしてゐる。年に三回か四回かその島に百噸位の船が訪れて物資の交換をする。その大船が訪れるのは彼等には文化の女神の訪れの様である。彼等は沖に女神が現れ、漂泊してゐると、喜び勇んでカノウを襲して女神の裳に集り來る。



檳榔樹



パイヤ

木瓜と當字を使ふパイヤは全く木に生成する瓜だ、味は瓜より美味であるが一種の香りがある。パイヤの果汁はミルクのようで、これを煮詰めてパインを造る。パインは消化劑となる外、色々なものに使はれる。

檳榔樹は樹相、果實等キャベツ椰子に相似て、樹幹は建築の裝飾材となり、又割つてステッキ等を作る。果肉は土人の嗜好品として用ひられる。



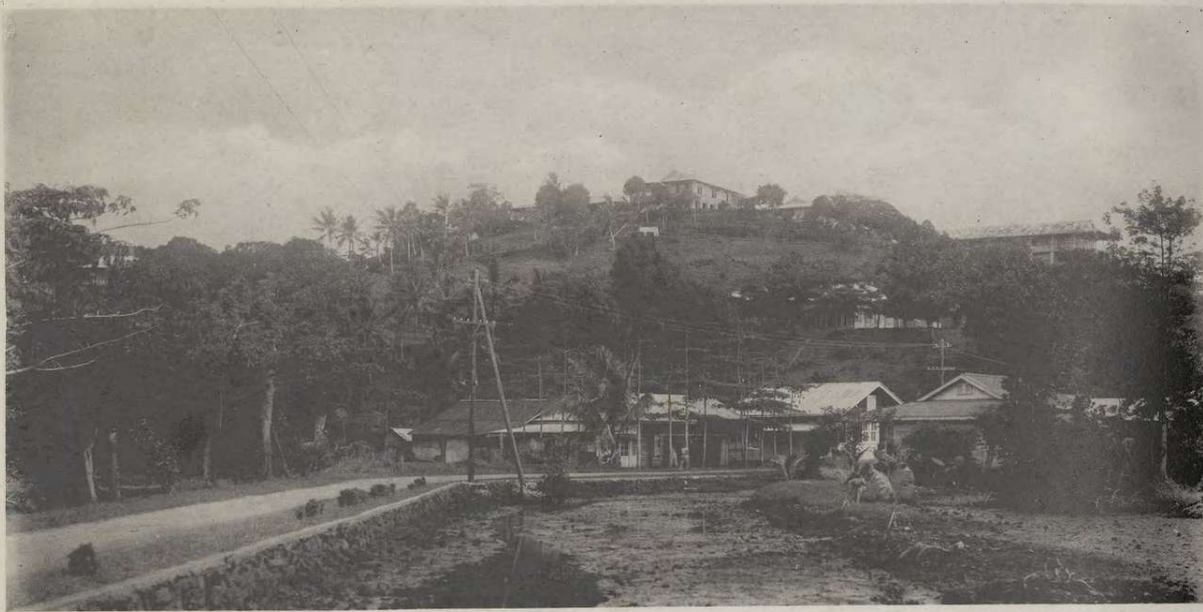
アンガウル島の燐鑛積込



アンガウル島はバラオ島の南方40哩の海中に兀立する小島であるが、  
燐鑛の産出を以て名高い、年産約六萬噸、價格百餘萬圓である。



トラツク島  
夏島の景



トラツク島は、周圍百二十の環礁内に在る。多數の島から成つてゐる。主なる島は四季の名や七曜の名をとりたるものである。夏島は支廳の所在地で良港をひかえてゐる。寫眞の山上の建物は支廳、向つて右端は官舎、中段樹間に隠見するは公學校、下は商店等である。



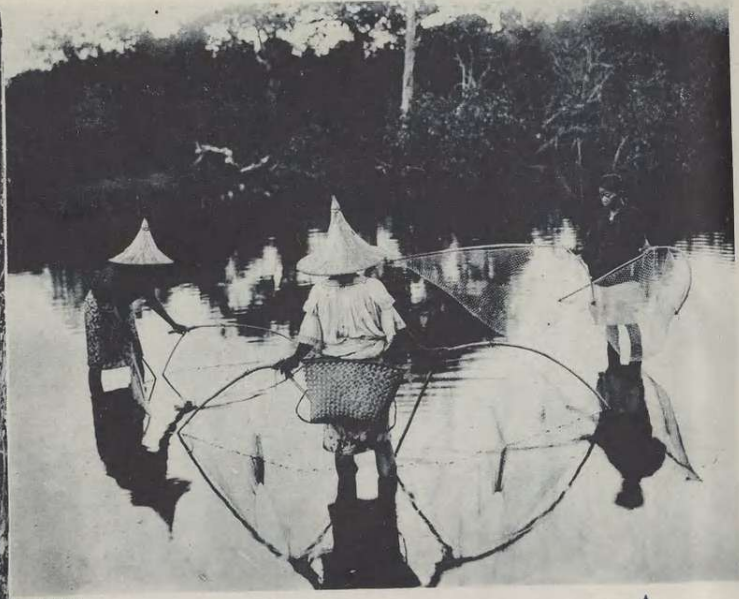
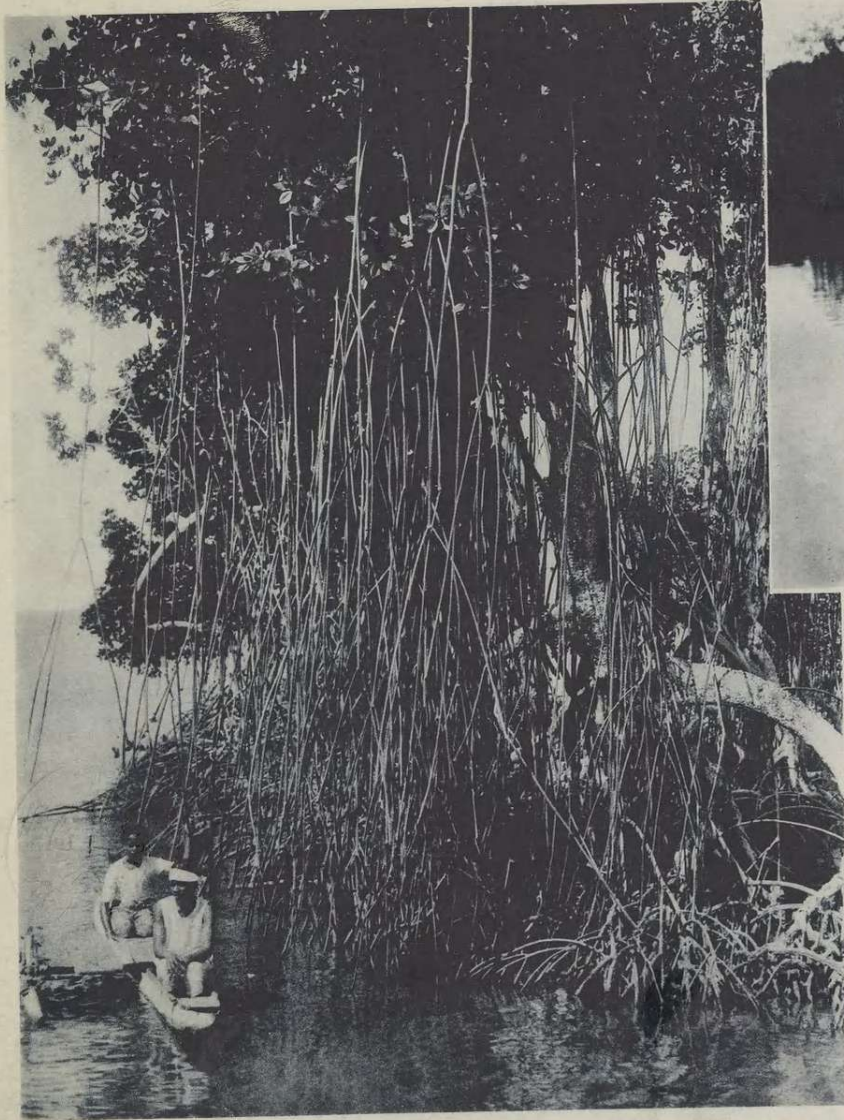
トラツク島の股賑



四季、七曜の各島及環礁内外の各島から物資の交易に集る船は實に夥しく、夏島はためにいつも股賑を極めてゐる。寫眞の最も近くは竹島、その後に見ゆるは冬島である。



マングローブ (紅樹)



トラツク島 女のすなごり

↑  
 トラツクでは婦人が魚を捕りに海へ出かける。  
 (クサイ島でも女がやる) 簡単な手網を持つて、  
 数人又は十数人集つて捕る。然しこんな方法で  
 は勿論小さい魚のみである。其の様誠に原始的  
 たるを免れない。

←  
 南洋の島は大抵何處でも海岸には一帯にマン  
 グローブの密林があり海岸を鎖し、海中遠く數町  
 に亘るものがあつて恰も陸地の様である。水深  
 數尺の海底より成長し無數の氣根を出して幹を  
 支ふ海中の森林全く奇異なる景である。土人は  
 其の林を伐り開き海中に通路を作る。この樹は  
 材質極めて堅く建築に用ひられる外近年邦人は  
 之を伐採して木炭を製し内地に輸出する。



パン餅作り



パンの實(ブレッド フルート)は名の如くパンに酷似した果物である。パンの木といふ喬木に生ずる。栽培手入等の勞を要しない。このパンの實は誠に重寶なもので、焼いたり、煮たりして食するがトラックや、ボナベでは搗いて餅にして食べる。パン餅といふのがそれで島民の主食物となつてゐる。



離島の民



南洋では行政や商業の中央から遠く離れて、文化の恩恵の容易に及ばぬ島々がまだまだ澤山ある。此等の島々を普通離島と呼ぶ。離島の民はまだ自然の子だ。腰に一条をまとはぬ者、本當に木のその儘を以て前を掩ふもの、樹皮の粗製の織物を作つて之をまとふもの様々である。中央の洋服を着てゐるのは村長である。この寫眞はトラックの北西離島のものである。斯んな島へでも南洋廳補助の船が通ふ。

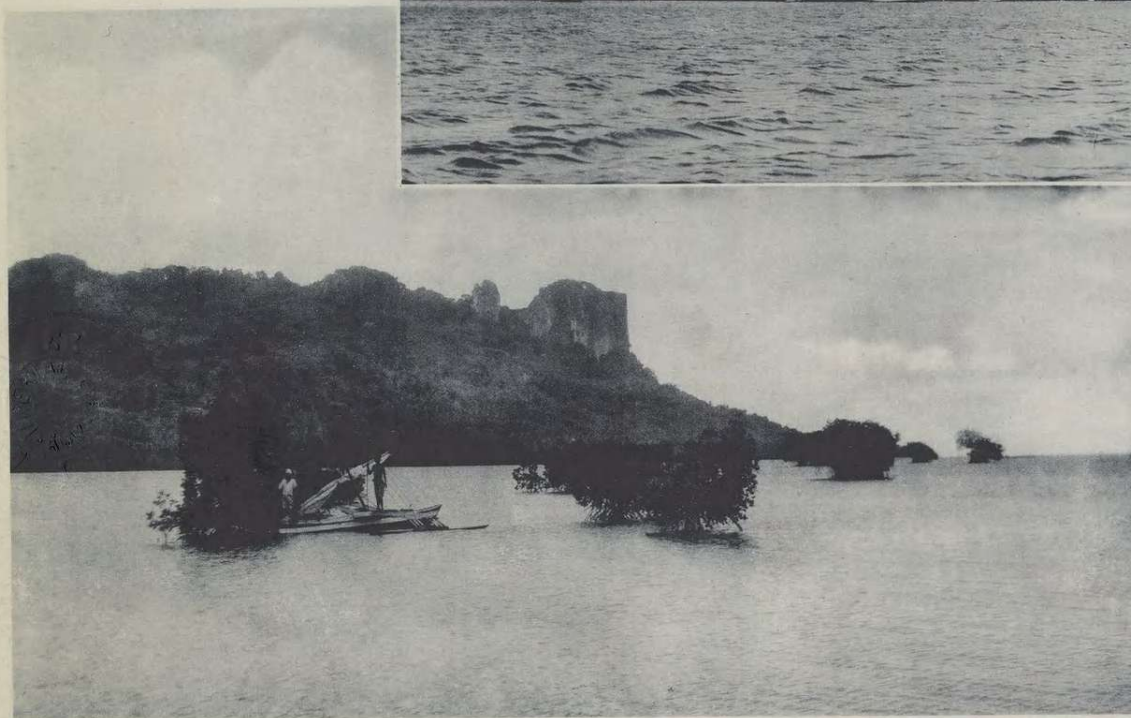






→ ボナベ島コロニー町

コロニーの町を海上より見たる景。  
この多くの建物は殆ど我領有以後の  
建物である。



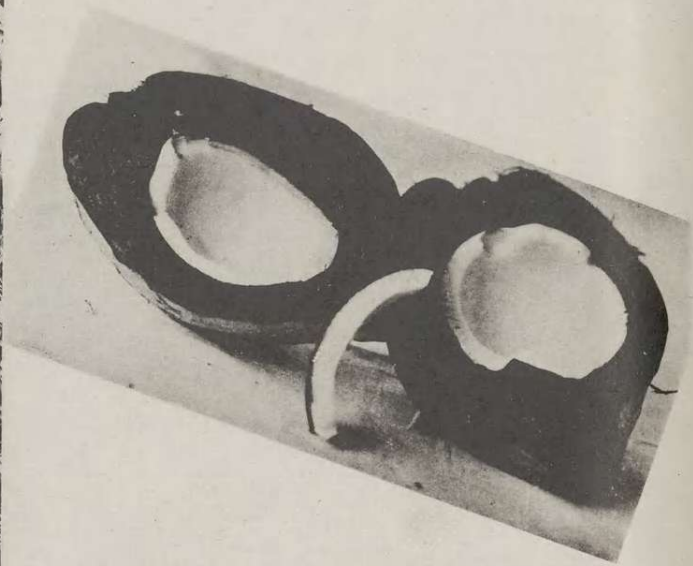
← ジョーカージの奇巖

ボナベ島に在る。恰も人の心氣を壓するが如く  
コロニー町の背後に屹立してゐる。往年西領時  
代も獨逸時代も政廳に反抗したる土民はジョカ  
ージの巖窟に潜居し神出鬼没大いに暴威を逞う  
したといふ。  
我善政は此の奇巖を風景内の點景物として朗に  
取扱ふ迄に至つてゐる。





椰子樹と實



遠く望見する亭々たる椰子は南洋の風景に無くてならないものである。椰子は普通六七年で實を結ぶ。成樹は一枚の葉を出す毎に花梗を生ず。一花梗に十二三個の實を着く。一本の樹に百個位實の簇生するものがある。數十尺の空に直伸する幹頂には累々として頭大の實を簇生し、巨大な羽状葉を放射形に翳し、風にあふられて矢車の様に動く様は實に南洋風景の一異観である。

花梗は大なる苞を有する。幼き花梗を切り置けば盛んに液汁を出す。瓶口に挿入して之を貯へ醗酵せしめて椰子酒を造る。中果皮の纖維を以て繩を造る。建築、造船等に全く釘を用ひず専ら繩で結び付ける土人には此椰子繩はなくてはならぬ品である。



ボナベ島民の奇習



ボナベ島民はシヤカオといふ飲料を作つて飲む事を無上の喜びとしてゐる。シヤカオ汁は見た所泥水である。内地のショウガに似た植物の根を上から引き抜いて(其の根の土を洗ひ落すは禁物)それを平盤の上で叩き潰して得た汁である。大酋長に恭々しく献酬して後、他の者が御招伴するのである。



ボナベ島  
バルキール  
植民地



バルキール植民地はボナベ島の西部に在る。平地連続せる所八百餘町歩ある。移民は一戸五町歩の土地を貰へる。現在五六十戸入植してゐる。寫眞は植民地の水田である。



スペイン時代の城壁



ボナベ島はスペイン時代行政の主腦(群島での)を置いた所である。其の當時のスペイン人に依つて築かれた城が今でも残つてゐる。スペイン時代にもドイツ時代にも島民が反亂を起しては行政官を殺戮した。我領有以來かくの如き不穩祥なことは微兆もない。



ナンマタールの遺蹟



千古の謎として今も残つてゐるナンマタールの遺蹟は群島のスヘンクスである。ナンマタールの遺蹟といふのは巨大なる岩石(玄武岩)を以て圍まれたる城とも、みたまやとも、何とも判断のつかない膨大な石垣造りで、ボナベの東海岸の淺海に數多築かれたものである。ナンマタールが何であるか解つたら、人類學上、考古學上、解かれる疑問が随分多いだらうと思はれる。



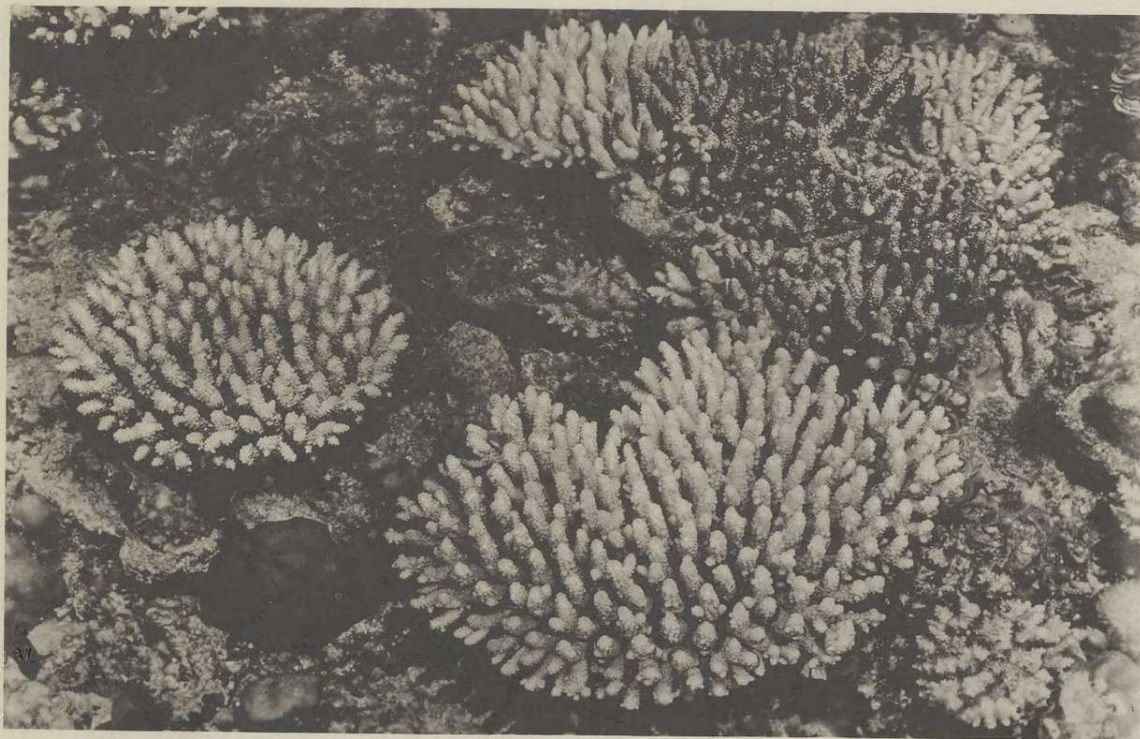
ヤ  
ル  
ー  
ト  
島  
の  
町



ヤルート島はマーシャル郡島の關門である。良港を有し、マーシャル群島數百の島々に對する物資の集散地である。島は小さいが殷賑を極めてゐる。寫眞はヤルート島ジャポール町の景である。マーシャル群島は、南洋群島全体のコブラの産額ノ約半分を持つてゐる。



リーフの  
状態



珊瑚礁はリーフといふ。海中に木の枝に生育發達する。赤、綠、朱、紫等種々の色彩を備へて海中に生えてゐる美觀は筆舌に表はし難い。



酋長の娘



マインヤルの島民の中には、ポリネシアの血を多分に享けてゐる者が可成に多い。此寫眞もその一人である。



島民の編物



島民は編物をする事を外人から教はつた。各島何處でも編物をするが、ヤルートの島民が最も上手である。編物の材料は椰子の若葉やタコの木(バンダンヌ)の葉の表皮を漂白したものである。



キ  
リ  
ス  
ト  
教  
會



群島は早くから、キリスト教が入つて争鬩に日を暮してゐた野暮な  
土民を教化し始めた。今ではどの部落の民も朝夕教會に禮拜して祈  
りを捧げてゐる。



群島の警備



我南方最前哨線たる群島は内に孜々として凡ゆる文化施設に餘念がないが、外は光輝ある我海軍で始終警備されてゐる。住民は安らかな眠りを得て、明け暮れ家業にいそしんでゐる。



昭和十年十月五日印刷  
昭和十年十月十日發行

海の生命線我が南洋の姿  
(南洋群島寫真帖)

南洋パラオ島コロール

編輯兼  
發行者

西野元章

東京市神田區旭町十二

印刷者

天野文雄

南洋パラオ島コロール

發行所

二葉屋吳服店

電話二九五番

複製  
不許



688  
107



